

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	臨床研修費	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和43年度～	担当課室	医事課	課長:北澤 潤			
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	・平成23年3月30日医政発0330第1号「医師臨床研修費補助事業の実施について」 ・平成25年5月20日厚生労働省発医政0520第2号「臨床研修費等補助金交付要綱」等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を修得するための臨床研修を支援すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	改正医師法の施行に伴い平成16年4月より医師臨床研修制度が義務化され、将来専門とする分野にかかわらず、患者と良好な信頼関係の下に患者を全人的に診ることができるよう、①医師としての人格を涵養し、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得するとともに、③臨床研修に専念できる環境を整備すること、を基本的な考え方として臨床研修病院に対して指導要員等、臨床研修の実施に必要な経費に対する補助を行っている。また、臨床研修の研修プログラムの企画・立案を行うプログラム責任者に対する講習会について補助を行っている。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	16,162	14,214	13,209	12,148	10,922
		補正予算					
		繰越し等					
		計	16,162	14,214	13,209	12,148	10,922
		執行額	15,999	14,214	13,209		
	執行率(%)	99.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	医師臨床研修医数	成果実績	人	15,116	15,417	15,550	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	医師臨床研修実施病院	活動実績 (当初見込み)	施設	2,532	2,531 ( - )	2,553 ( - )	— ( - )
単位当たりコスト	1,158,882(円/人)	算出根拠	24年度予算額/補助対象臨床研修医数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	臨床研修費等補助金	12,137	10,911	事業規模の縮小によるもの			
	医療関係者研修費等補助金	11	11				
計	12,148	10,922					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	臨床研修の円滑な実施は、患者と良好な信頼関係のもとに患者を全人的に診ることができるよう①医師としての人格のかん養、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力の修得のために重要		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医師臨床研修は医師法の改正における附帯決議において、国が実施すべき事業とされており、臨床研修の円滑な実施を図るため、引き続き国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	臨床研修の円滑な実施は、患者と良好な信頼関係のもとに患者を全人的に診ることができるよう①医師としての人格のかん養、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力の修得のために重要		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱において補助対象、補助率等を定めており、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	診療現場への直接の影響が比較的小さく、業務の効率化が見込まれる経費から削減に努めており、コスト水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	交付要綱等において、真に必要なものに限定している		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		△	診療報酬で対応すべく調整をするべきとの指摘があり、個々の診療行為に着目して支払われる診療報酬の特徴と臨床研修との関連について検討中		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	臨床研修実施病院は毎年、年次報告を作成することとしており、臨床研修の実施状況について把握している		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点 検 結 果	当該事業は、医師が、患者と良好な信頼関係の下に患者を全人的に診ることができるよう、①医師としての人格をかん養し、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得するとともに、③臨床研修に専念できる環境を整備することを基本的な考え方に、臨床研修が円滑に実施されるために国が責任をもって実施すべき事業である。 臨床研修の円滑な実施による医師の質の一層の向上は、患者にとって信頼できる医療を確立するために必要であるため、コストの削減に努めながら、今後も当該事業の継続は必要である。					
	外部有識者の所見					
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	臨床研修費については、事後の検証・効果を踏まえた見直しの観点から、活動実績、事業効果を検証し予算を縮減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	平成26年度概算要求においては、活動実績等を踏まえ、研修プログラムの作成経費など診療現場への直接の影響が比較的小さく、業務の効率化が見込まれる経費について、予算の縮減(25年度予算額から▲1,226百万円)を行っている。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	85	平成23年	0027	平成24年	051

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
13,209百万円

〔臨床研修病院に対して指導要員等、臨床研修の実施に必要な経費に対する補助、また、プログラム責任者に対する講習会についての補助〕

【補助】

B. 臨床研修協議会  
11百万円

【補助】

A. 公私立大学病院等(911病院)  
13,198百万円

〔臨床研修の実施〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.東海大学医学部附属病院			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	指導医等に係る謝金、人件費等	120			
需用費	消耗品費、通信運搬費等	4			
計		124	計		0
B.臨床研修協議会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	講習会会場借料	4			
旅費	講師旅費	3			
謝金	講師謝金	2			
役務費	参加募集要領等発送	1			
印刷製本費	講習テキスト、修了証書作成	1			
計		11	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東海大学医学部附属病院	臨床研修の実施	124		
2	久留米大学病院	臨床研修の実施	124		
3	京都府立医科大学附属病院	臨床研修の実施	115		
4	自治医科大学附属病院	臨床研修の実施	114		
5	東京女子医科大学病院	臨床研修の実施	103		
6	東京医科歯科大学医学部附属病院	臨床研修の実施	101		
7	獨協医科大学病院	臨床研修の実施	99		
8	杏林大学医学部附属病院	臨床研修の実施	94		
9	日本大学医学部附属板橋病院	臨床研修の実施	94		
10	和歌山県立医科大学附属病院	臨床研修の実施	93		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	臨床研修協議会	プログラム責任者に対する講習会の実施	11		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					